



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **04269084 A**(43) Date of publication of application: **25.09.92**

(51) Int. Cl. **H04N 5/92**
G06F 15/66
H03M 7/30
H04N 7/133

(21) Application number: **03029977**(22) Date of filing: **25.02.91**(71) Applicant: **KONICA CORP**

(72) Inventor: **YONEDA TADAAKI**
SAKAI TAKEOKI
ISOGUCHI SEIICHI
OTA YOSHITAKA

(54) **IMAGE CONVERTER**

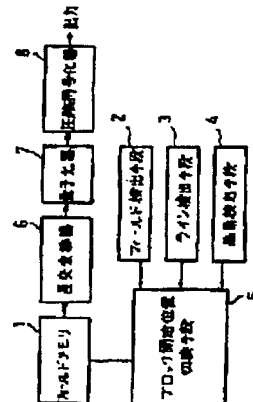
recording data.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

PURPOSE: To effectively eliminate the influence of block artifact on visual sense when a video signal is digitized and encoded by conversion.

CONSTITUTION: Field memory 1 to which a digital video signal is inputted is to make each field of the video signal into blocks, and a picture element is re-arranged in rectangular block unit of lateral N picture elements and longitudinal 14 picture elements. A blocking start position switching means 5 to which information from a field detecting means 2, a block line detecting means 3, and a picture element detecting means 4 are supplied, respectively is connected to the field memory 1, and the blocking start position of each field is switched by the switching means 5, and the blocking start position is controlled so as to vary a conversion blocking position at every block line in a vertical or horizontal direction in each field. Orthogonal transformation is applied to the video signal by an orthogonal transformer 6, and the rounding of data by a quantizer 7. The compression of data amount is performed by a compression encoder 8, and data is outputted as



拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成11年 特許願 第067086号
起案日	平成16年 8月10日
特許庁審査官	松永 隆志 4228 5P00
特許出願人代理人	國分 孝悦 様
適用条文	第29条第2項

<<<< 最 後 >>>>

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の請求項1～26に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

「上記圧縮対象のベクトルを構成するブロックを、少なくとも垂直方向に近接するブロック間では空間的位置を水平方向にずらして圧縮対象より抽出するようにするブロックシフト手段」は、引用文献1の(1)頁の従来技術、第3図、および引用文献2の【0015】～【0018】に記載されている。

所定の学習アルゴリズムを利用した更新処理を所定回数繰り返すことにより最適化されたコードブックは、引用文献3～5に記載されている。

1次元ラインブロックを用いたベクトル量子化は、引用文献6の(2)頁に記載されている。

演算省略手段は、引用文献7の【0090】の「2値画像の場合はベクトル量子化を省略」に記載されている。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平3-29564号公報
2. 特開平4-269084号公報
3. 特開平8-316842号公報
4. 特開平6-237179号公報
5. 特開平7-288474号公報
6. 特開昭62-171389号公報
7. 特開平8-317385号公報

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第4部映像機器（テレビジョン） 松永隆志

TEL. 03 (3581) 1101 (内線6973)

FAX. 03 (3501) 0715

最後の拒絶理由通知とする理由

1. すでに通知した拒絶の理由は解消したが、出願の単一性の要件が満たされな
いたために特許要件等の審査をしなかった請求項について発見した拒絶理由のみを
通知する拒絶理由通知である。